

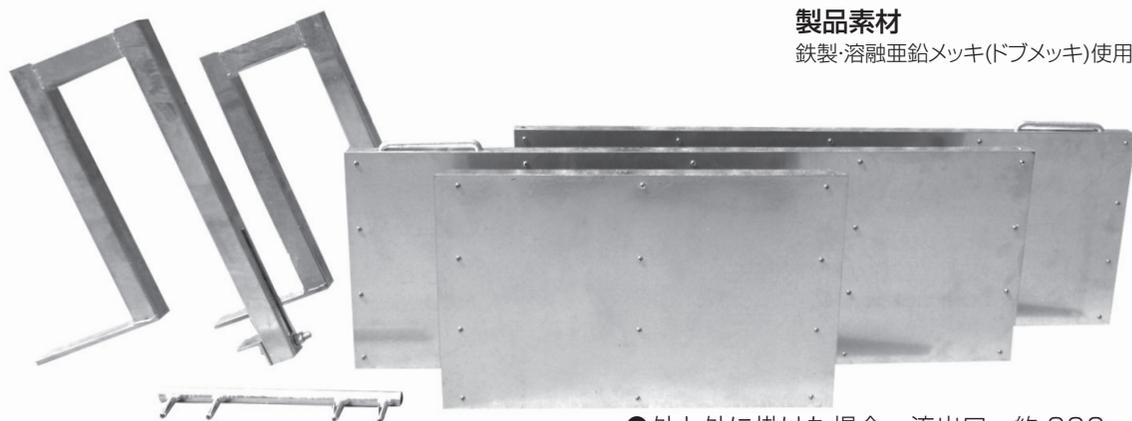
## DUMP CHUTE

# ダンプシュート

## 取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書は大切に保管して下さい。

取扱説明書の記載事項を守らないと死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。



### 製品素材

鉄製・溶融亜鉛メッキ(ドブメッキ)使用

- 外と外に掛けた場合 流出口 約 300mm
- 内と内に掛けた場合 流出口 約 150mm
- 金具を取り付ける際は向きを確認して下さい

### セット内容

案内パネル	2枚	1,200×400×42mm
集積パネル	1枚	650×400×42mm
後ろ扉規制金具	2ヶ	
幅決め金具	1ヶ	

### 重量

案内パネル	1枚	17,0 kg
集積パネル	1枚	8,6 kg
後ろ扉規制金具	1ヶ	7,1 kg
幅決め金具	1ヶ	0,6 kg
総重量		57,4 kg

## 使用方法

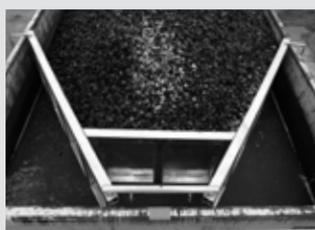
- ① 空荷のトラックに、案内パネルを左右対称となるように設置し、幅決め金具を取り付ける（この時荷台と金具のセンターを合わせる）。
- ② 集積パネルを左右の案内パネルの間に設置する。
- ③ 材料を積み込む（少量の時はパネルがバタつかない様、押さえつけるためにも、なるべく後方に積み込む）。
- ④ 作業現場到着後、後ろ扉規制金具を設置する。
- ⑤ 軽くダンプアップ（25～40度以内）する  
（この時ダンプの底板面と後ろ扉規制金具のトラック底板面との当接部を、しっかり密着させ後ろ扉規制金具が浮き上がっていないか確認する）。
- ⑥ トラックの後ろ扉の開き具合を確認して、後ろ扉規制金具に荷重がかかっているか確認をする。
- ⑦ アングルを荷台下部に合わせロックし、後ろ扉規制金具が浮き上がらないか確認する。
- ⑧ 荷台を少し下げ、一輪車を流出口の下へ置く。
- ⑨ 集積パネルを抜く。
- ⑩ 鍬・スコップ等を用いて材料をかき出す。
- ⑪ 手前の材料がなくなれば、少しダンプアップして材料をかき出しやすくする。
- ⑫ 少しずつダンプアップして作業を進める。
- ⑬ トラック前方にたまった材料を後方に集めるため、手前の材料がなくなれば再度集積パネルを設置する。
- ⑭ 集積パネルを設置する際、案内パネルのズレがある場合はズレを直してから集積パネルを設置する。
- ⑮ ダンプアップして材料を後方に集める。
- ⑯ 荷台を下げ、一輪車を置き、集積パネルを抜く。
- ⑰ 材料をかき出す。
- ⑱ すべての材料を下ろし終わったら、後ろ扉規制金具を取り外し荷台を下ろす。

作業終了

# “ダンプシュート” 使用方法



① 板をセットする（この時荷台と金具のセンターを合わせる）



② 材料を積込む



③ 現場到着後、後ろ扉規制金具を設置する



④ 軽くダンプアップする



⑤ アングルの荷台下部に合わせロックする



⑥ 一輪車を置き集積パネルを抜き材料を掻き出す



⑦ 少しずつダンプアップして作業を進める



⑧ 手前の材料がなくなれば再度集積パネルを設置する



⑨ ダンプアップして材料を後方に集める

⑩ すべての材料を下ろし終わったら、後ろ扉規制金具を取り外し荷台を下ろす

終了

# 使用後のお手入れと保管の仕方

## お手入れのしかた

- 汚れは濡れぞうきんなどで綺麗に拭き取って下さい。
- 汚れのいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いて下さい。

## 保管のしかた

- 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管して下さい。
- 本製品が濡れている時は、十分に乾燥させてから保管して下さい。
- 保管中は、本製品の上に物を置かないで下さい。

## 注意事項

必ずお守りください。

### 警告



鉄製品ですので、夏場日光に当たり続けた状態が続くとダンプシュートが熱くなっていることが考えられるので、手袋などを使って火傷しないように注意して下さい。

トラックとダンプシュートの当接面に傷がつく場合がありますので、トラック面を養生して下さい。

サイドのコボレンの骨組みがトラックの荷台より内側にくるトラックは、使用出来ない場合があります。

船底タイプのトラックには使用できません。



荷台内幅が1600mmのダンプカー対応商品です。

ダンプレバー操作を激しくすればトラックに負担がかかる可能性があります。トラックへの補償は一切負いかねます。

作業現場周辺の安全を確保してから作業を行うので、第三者への事故・トラブルは作業者が責任を持って対応して下さい。

日本国内使用限定です。

# ダンプシュート使用上のルール

- ダンプシュートの破損・変形・亀裂・曲がり・ねじれ・摩耗・いちじるしい腐食がないか使用前点検を行って下さい。
- 使用前点検でダンプシュートに問題点がある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。
- 材料を積み込む際、パネルを正確に設置して下さい。
- 後ろ扉規制金具を正確に取り付け、扉が確実にこれ以上開かないか確認をして下さい。
- アングルを荷台下部に合わせ、後ろ扉規制金具が抜けがないか確認を行ってから作業を開始して下さい。
- 集積パネルを抜く際、手を挟まない様にするため不安定作業を行わないで下さい。
- 少しずつダンプアップして作業をして下さい。
- 作業を進めていく際、パネルがずれる事がありますので、ずれを直して作業を進めて下さい。
- 砂・真砂土・砂利（直径5cm以下）農業肥料・家畜飼料の荷下ろし作業に使用して下さい。
- パネルのフックを荷台に掛けて走行する際、フックがバタつく場合はテープを貼るなどの処理をして固定させて下さい。
- 作業現場周辺の安全を確保して、作業を行って下さい。
- ダンプアップする際、トラックが周囲にぶつからないか安全確認をして下さい。
- ダンプアップは少しずつゆっくりと行って下さい。
- ダンプアップする際、合図者がトラック周辺の安全確認を行って下さい。
- 体が下記の状態の時は作業をしないで下さい。
  - ・疲れているとき・怪我をしているとき・薬やお酒を飲んだとき。
  - ・病气や妊娠しているとき・身体に異常を感じる時。
- 製品やトラックに引っかかったり、ズボンの裾を踏みつける恐れのある服装での作業は行わないで下さい。
- 作業時は作業帽（ヘルメットなど）を着用して下さい。
- この製品を人に貸す時は、取扱説明書と共に貸し出して下さい。
- ダンプシュートを持ち運ぶときは、引きずったり・投げたり・乱暴に扱わないで下さい。
- 作業中は作業員以外の人は近づけないで下さい。

# 禁止事項



## 危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています

- 過積載での作業は絶対に行わないで下さい。
- 材料を満載した状態での過剰なダンプアップは、破損の原因になりますので絶対に行わないで下さい。
- 材料を積載した状態でのダンプアップは、トラックが不安定になり横転する可能性がありますので、必要以上に過剰なダンプアップ・勾配がきつい場所やわらかい地面・段差がある場所・凸凹があつて安定しない場所・傾斜している地面・積雪や凍結している場所・地面の片側がアスファルトもう一方が砂利など左右の硬さが違う場所など、不安定な場所での作業は絶対に行わないで下さい。
- 砂・真砂土・砂利（直径5cm以下）農業肥料・家畜飼料の荷下ろし作業に使うものであって、それ以外（例、生コン・アスファルト・残土など）には使用しないで下さい。
- 雨・雪が降っている時は、身体の動きが悪くなり事故が起こりやすいので、作業を行わないで下さい。
- 雨天時の作業は、積載した材料が重くなるので行わないで下さい。
- 周囲に危険なものがある場所での作業は、行わないで下さい。
- 荷下ろし作業以外の使い方をしないで下さい。
- ダンプシュートを加工・改造しないで下さい。
- ダンプアップする際、勢いよく上げないで下さい。
- 作業中はトラックの荷台に絶対登らないで下さい。
- 作業時以外は、後ろ扉規制金具を荷台に取り付けしないで下さい。
- お子様や取扱説明書の内容が理解できない人には、絶対に使わせないで下さい。



## 警告

使用方法・注意事項・使用上のルール・禁止事項を守られていない場合の事故等は、責任を一切負いかねます



## 警告

以上の使用方法・注意事項・使用上のルール・禁止事項を守って安全第一で作業を行って下さい

**SUNRISE** サンライズ

〒520-0114 滋賀県大津市穴太二丁目 1-8

TEL/FAX 077-578-4895